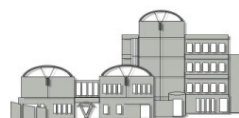


# こころだより

## 2012新春号



地方独立行政法人  
山口県立病院機構



編集 広報委員会  
発行 山口県立こころの医療センター  
山口県宇部市東岐波4004-2  
Tel. 0836-58-2370 (代表)

### 『辰年を迎えて』

院長 兼行 浩史



明けましておめでとうございます。新しい年を無事に迎えられたことを、皆さまに感謝したいと思います。昨年は、東日本を未曾有の災害が襲い、深い悲しみとともに復興へと歩み始めた忘れがたい1年となりました。当院からも、心のケアチームを5回に分けて釜石市に派遣し、被災された方々を支援させて頂いた貴重な体験は、病院職員に広く浸透して士気を高めたと実感しています。

当院は、平成23年4月、山口県立総合医療センターとともに地方独立行政法人山口県立病院機構となり、前川剛志理事長（前山口大学医学部長）の主導で新たに船出しました。昨年8月24～26日には、全国自治体病院協議会精神科特別部会の総会・研修会を開催して、全国から約200名の方々にご参加頂きました。そこで、当院職員が一丸となって取り組んだ会運営に対して、全国自治体病院の高名な院長方を含んだ参加者から身に余るほど多くの賛辞が届き、院長として改めて当院職員を誇りに思いました。また、昨年10月には、病院機能評価の更新受審を無事に終えており、看護部を筆頭に各部署が周到な準備を重ねて、医療体制の向上に貴重な機会となりました。昨年は、2月の医療観察法入院病床の開設もあって、一大行事の目白押しとなりましたが、お陰様で本当に充実した1年と感慨深く振り返ることができます。

当院は、今後とも、県民の心の健康を支える質の高い医療の提供を理念として、職員一同、誠意と使命感を保って、努力を重ねる決意です。今年は、昇り竜のごとくさらなる飛躍の年にしたいと願っております。私たちは、一期一会の精神で人と人の温かいふれあいを大切にして、患者さんご家族に良質な医療を提供することを最優先に、医療安全の推進、経営の健全化に取り組んでまいります。

今年も、より一層のご理解とご支援を頂きますよう心よりお願い申し上げます。

#### 病院理念

**県民の心の健康を支える質の高い医療の提供**

#### 基本理念

- 1 急性期を中心とする医療
  - 2 人権を尊重する医療
  - 3 患者・家族と共に歩む医療
  - 4 社会復帰を促進する医療
  - 5 地域社会と連携する医療
- の実践



# 地域連携室の紹介

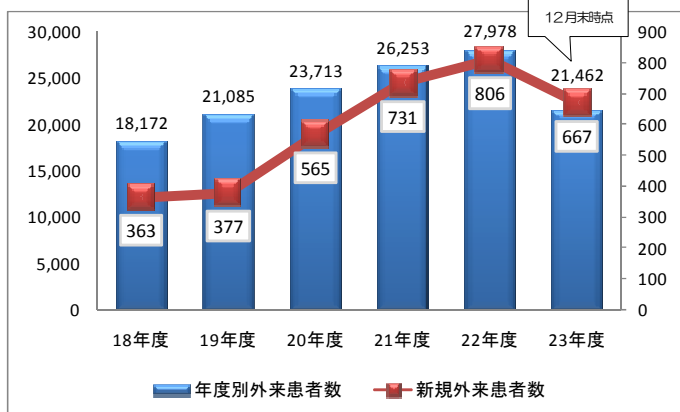
当院では、平成23年4月に「地域連携室」を開設しました。地域連携室は、医師の村田部長を室長とし、5つの部門から構成されています。各部門の構成は、外来（看護）部門、デイケア部門、精神保健福祉士部門、作業療法士部門、臨床心理士部門で、総勢40名以上の大所帯です。今回は、地域連携室全体を簡単にご紹介させていただきます。

## 外来(看護)部門

患者さん本人やご家族、地域の医療・福祉機関などから、当院を外来受診したいといった場合や、入院や転院を希望されるといった場合は、外来看護部門が対応します。

また当院には、思春期、アルコール依存症、物忘れ、高次脳機能障害の4つの専門外来があります。一般外来も専門外来も予約が必要ですので、専用の電話（0836-58-2327）にてご相談ください。

グラフは年度別の外来患者数及び新規外来患者数です。年々増加傾向にあり、今年度は12月末時点で外来患者数が21,462人、新規外来患者数が667人となっています。



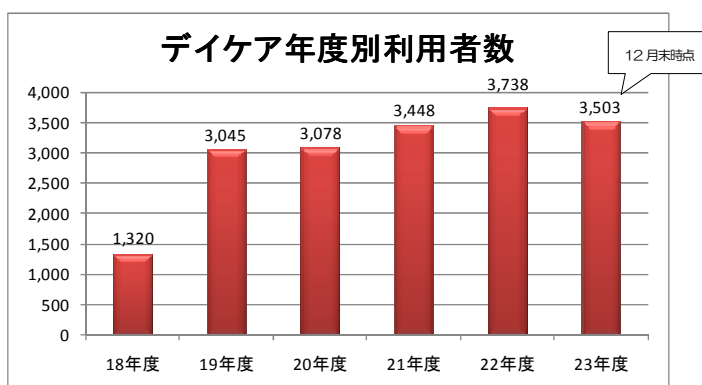
外来スタッフ

## デイケア部門

入院棟1階南側に、当院のデイケア部門があり、利用定員は30名の小規模デイケアです。月曜日から金曜日まで開設しており、20名から30名の患者さんが通っておられます。

プログラムは、創作活動や季節の行事、音楽鑑賞、バス旅行、映画鑑賞、スポーツ大会などへの参加などがあり、今年度から、就労支援やSSTも取り入れています。

グラフは年度別のデイケア利用者数です。昨年7月から、デイケア実施日を週4日から週5日へと増やし、多くの医療の提供を行っています。



1 / 11 デイケア書き初め風景

## 作業療法部門

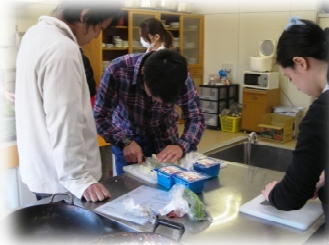
作業療法は、作業療法士が、生活をする上での様々な動き・活動などを通して、心身の機能障害を回復していくという、治療（リハビリテーション）の1領域です。外来患者さんや入院患者さんに対して、スポーツやレクリエーション、陶芸や手工芸、料理などのプログラムを、入院棟の中や生活療法棟、農場などで行っています。



茶道プログラム



陶芸教室



料理教室



フリースポーツ

## 精神保健福祉士部門

精神保健福祉士が、各入院棟に配置されて、入院に関する手続きや福祉制度の利用、地域の関係機関等との連絡、調整などの業務を行っています。また、医療相談室が1階事務部の前にあり、外来患者さんの相談を受けています。

医療相談室内には、県の指定を受けた「認知症疾患医療センター」が設置されており、認知症についてご家族や地域包括支援センター、支援関係者などからの相談を受けての専門的な助言や診断等を行っています。

### ー認知症疾患医療センター研修会開催のお知らせー

日時：平成24年2月19日（日）13時30分～16時30分

場所：山口県総合保健会館2階 多目的ホール

《特別講演》『認知症医療の課題と今後の展開～早期発見から予防に向けて～』

**座長** 徳山医師会病院院長 森松 光紀 先生

**講師** 鳥取大学医学部大学院医学系研究科 保健学専攻・病態解析学分野  
浦上 克哉 教授

《総合討論》『認知症医療の連携を築くために』

**司会** 山口県立こころの医療センター 兼行 浩史

**演者** 山口大学大学院医学系研究科神経内科 川井 元晴（神経内科）

ながみつクリニック 長光 勉（脳外科）

山口県立こころの医療センター 中山 寛人（精神科）

原田医院 原田 和佳（精神科）

対象：福祉・医療専門職、チラシ裏面の申込用紙にて事前申し込みが必要です



昨年度の研修会風景

## 臨床心理部門

臨床心理士が、医師の指示に基づきカウンセリングや心理検査などを行っています。

また、当院には臨床心理センターが開設されており、県内の教育や児童福祉機関等からの依頼に基づき、その機関に出かけて行き、児童思春期臨床における専門家への支援を行っています。

平成23年度臨床心理センター活動実績（12月末現在）…11件

【主な訪問先】児童相談所、養護施設、小学校・中学校など



このように当院の地域連携室は様々なセクションから構成されていて、それぞれの活動の場所も違いますので、毎朝8時30分から2階の地域連携室において「朝会」を行っています。その日の活動内容や連絡事項の確認、短時間のカンファレンスなどを行い、まずは、各セクションの連携が十分とれるように努めています。



### 地域連携室からのお知らせ

最後に、地域連携室よりお知らせです。

平成24年6月1日（金）～6月3日（日）にかけて、当院の引き受けにより、第29回日本家族研究・家族療法学会を、山口県総合保健会館およびパルトピアやまぐちで開催します。詳細については、以下のとおりです。

## 日本家族研究・家族療法学会

会期 平成24年6月1日（金）～3日（日）

会場 山口県総合保健会館 パルトピアやまぐち

### 第29回山口大会 みらい 家族の未来 いま 支援者の現在

【大会趣旨】平成11年に牧原浩先生を大会長に第16回大会が開催されて以来、2度目の山口県での開催になります。この間に家族療法のすそ野は、医療・心理から福祉・教育・保健・司法の領域へと広がってきました。家族そのものが大きく変容していることを背景に、家族の提示してくる「問題」も多様化し、支援する側に求められる知識や技術もより高度になってきています。本大会では、このような家族と支援者をめぐる状況のなかで、様々な領域で家族療法を実践しているベテラン、中堅、初学者と、さらにこれから実践しようとしている人たちがともに議論し体験を共有できるような場にしたいと考えています。

【日程】平成24年6月1日（金）～3日（日）

【会場】山口県総合保健会館 / パルトピアやまぐち

#### 【主なプログラム】

6月1日（金）大会第1日

■ 大会企画 『牧原浩、みづからを語る』

■ 基調講演 『家族療法を学ぶ／教える～認定スーパーヴァイザー制度創出を契機として～』 講師：児島達美

■ 大会企画シンポジウムⅠ 『家族療法 どう学び、どう使う？』 指定討論：児島達美・大河原美以

6月2日（土）大会第2日

■ 大会企画シンポジウムⅡ 『家族療法 どう教え、何を伝える？』

シンポジスト：坂本真佐哉・森山美知子・中釜洋子・浅野正嗣

■ 東日本大震災関連シンポジウム

6月3日（日）ワークショップ

さらに詳細な情報については、大会ホームページをご覧ください。

【大会ホームページ】 [http://www.conet-cap.jp/jaft\\_conf2012/](http://www.conet-cap.jp/jaft_conf2012/)

## 12/21クリスマス会を行いました！！

12月に入り、利用者さんと共にクリスマス会の準備を始めました。クリスマスカードを作成したり、デイケアホールをクリスマス色に飾りました。

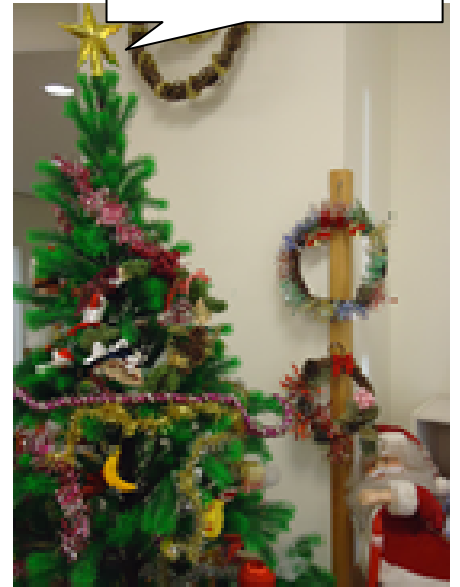
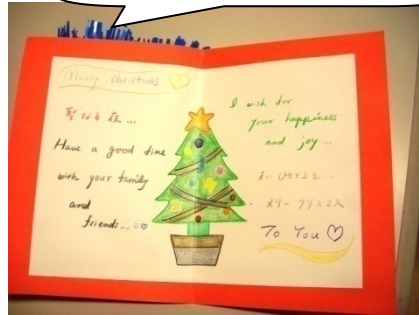
内容・当日の流れ・司会等を利用者さんと共に考え、準備を進めていき、当日を迎えました。

クリスマス会では、クリスマスプレゼントやクリスマスカードの交換をしたり、利用者さんがマジックやダンスを披露し大いに盛り上がりました。

クリスマス会当日のデイケアルームの様子です。こちらのリースも患者さんの手作りです。



素敵なカードができました！



## 1/12カルタ会を行いました！！

当院恒例のカルタ会を1月12日に開催しました。OTからは46名、デイケアから26名が参加されました。

今年からは新しくドンジャラを加え、坊主めくり、UNO、花札など6種の種目を楽しみました。寒さの中、あたたかいぜんざいもふるまわれ、和やかな楽しい一日を過ごす事ができました。

きた！！  
猪・鹿・蝶



UNO！！



真剣なまなざしで作戦考え中



七ならべが一番の人気種目でした





## 患者さんの権利とあり方



### 《 患者さんの権利 》

当院職員は、患者さんの権利と意志を尊重して、満足度の高い医療を行うために最大限の努力を致します。

患者の皆さまが診療を受けられるにあたって、以下の権利が保証されています。

- 1 ひとりの人間として、人格や価値観を尊重される権利があります。
- 2 良質で公平な医療を受ける権利があります。
- 3 納得できる十分な説明と必要な情報を受けた上で、治療方法などを治療者と相談しながら自らの意志で選択する権利があります。
- 4 ご自分の診療記録の開示と説明を求める権利があります。
- 5 医療機関を選択し変更する権利があります。また、別の医師の意見（セカンド・オピニオン）を受ける権利があります。
- 6 個人情報およびプライバシーが守られる権利があります。
- 7 処遇や治療について不服の場合は、処遇の改善や退院を請求する権利があります。

### 《 患者さんのあり方に関するお願い 》

より良い医療は、患者の皆さまと当院職員との信頼関係の上に成り立つものです。患者の皆さまには、以下のことをお願い申し上げます。

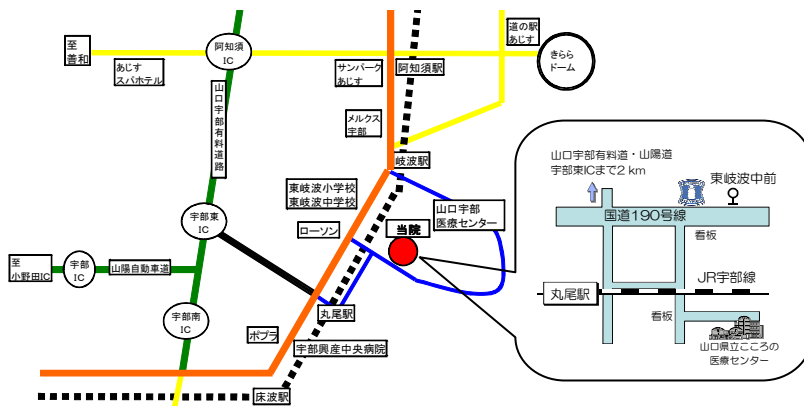
- 1 ご自身の健康に関する正しい情報の提供をお願いします。
- 2 医療への積極的なご参加をお願いします。
- 3 病院の規則は守っていただくをお願いします。
- 4 他の患者さんへの迷惑となる行為はなさないようにお願いします。

## 診療のご案内

外来診療担当医師				専門外来
	初診	一診	二診	
月	角田 武久	磯村 信治	藤田 実	思春期外来 火…村田 水…加来
火	村田 由紀	河合 宏治		物忘れ外来 月…兼行 水…中山
水	河合 宏治	村田 由紀	新造 竜也	高次脳機能外来 水…兼行、中山
木	新造 竜也	兼行 浩史	角田 武久	アルコール依存症外来 木…藤田
金	磯村 信治	藤田 実	加来 洋一	

一般外来・専門外来とも予約制となっております。予めお電話でご予約されてご来院ください。

### 交通アクセスのご案内



### 山口県立こころの医療センター

〒755-0241

山口県宇部市東岐波 4004-2

TEL:0836-58-2370 (代表)

:0836-58-2327 (外来直通)

FAX:0836-58-6503

URL:<http://www.y-kokoro.jp/>